

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
竜西地区

平成26年5月

長野県駒ヶ根市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	市民満足度調査	Pt	2.02	3.0以上	3.0	確定 見込み ●	○	あり なし	3.02	H26年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市民満足度の数値目標が達成されたことにより、満足されるまちづくりが進んでいると評価できる。
指標2	災害情報難聴地区アンケート調査	%	75	30	30	確定 見込み ●	○	あり なし	52	H26年4月	△	評価値の見込み推計が甘かった。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	事業実施前と比べると防災行政無線が聞こえる割合は上がっており、事業実施における効果が現れている。
指標3	企業立地による雇用の確保	人	0	50	61	確定 ●	○	あり なし	61	H25年10月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	新たな企業立地により、地域住民の雇用先が確保され、地域の活性化につながっている。
指標4						確定 見込み ●	○	あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み ●	○	あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み ●				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 見込み ●				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み ●				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> 成果を持続させるために行う方策 	産業振興基盤強化による活力あるまちづくりの創出	産業振興基盤の強化として企業誘致の推進	新たに2社が創業開始し、雇用先の確保が図られた。	引き続き産業振興基盤の強化として、企業誘致の推進を行う。
	地域住民の安全確保	防災行政無線を活用し、熊出没による注意喚起や人命検索などの情報発信を行った。	人命にかかる情報を防災行政無線を活用して積極的に流す事により、人命を確保した。	更なる住民の安全確保を図るため、防災行政無線以外の情報伝達手段としてメールを活用し、防災行政無線とメールの併用による情報発信を行う。
改善策 <ul style="list-style-type: none"> まちづくりの目標を達成するための改善策 残された課題・新たな課題への対応策 その他 必要な改善策 	生活道路における、歩行者の安全確保	通学路を中心とした生活道路における歩行者の安全を確保するため、都市再生整備計画を作成	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)をH26年度より開始	歩行者の安全を確保するため、都市再生整備計画事業の円滑な実施を図る。
	地域住民の安全な避難施設の整備	災害時に地域住民の避難施設となる市民体育館の耐震改修を行うため、都市再生整備計画を作成	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)をH26年度より開始	市民体育館の耐震改修を行うため、都市再生整備計画事業の円滑な実施を図る。
	宅内における災害情報等、情報伝達手段の検討	防災行政無線において、スピーカーの向きや音量等の調整を行い、聞こえ具合の改善を図った。	難聴地区が縮小されている。	難聴が確認された場合は、防災行政無線において、更にスピーカーの向きや音量調整を行い、防災行政無線の聞こえ具合の改善を図るとともに、情報伝達手段の多重化を図る。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項